

# Dell™ 1908WFPフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

## モニターについて

[製品の特徴](#)

[部品とコントロールの確認](#)

[モニター仕様](#)

[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)

[プラグアンドプレイ機能](#)

[保守のガイドライン](#)

## モニターを設定する

[スタンドを取り付ける](#)

[モニターを接続する](#)

[ケーブルを調整する](#)

[Dellサウンドバー \(オプション\) を使う](#)

[スタンドを取り外す](#)

## モニタの操作

[正面パネルボタンを使う](#)

[オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)

[最適解像度を設定する](#)

[サウンドバー\(オプション\)を使う](#)

[傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)

[モニターを回転させる](#)

[オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)

## 問題を解決する

[モニターのトラブルシューティング](#)

[全般問題](#)

[製品別の問題](#)

[ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)

[Dell サウンドバーのトラブルシューティング](#)

## 付録

[安全指示](#)

[FCC通知\(米国のみ\)およびその他の規制情報](#)

[Dellに問い合わせ](#)

[モニター設定ガイド](#)

## 注、注記および注意

 **注意：** 注は、コンピュータをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。

 **注記：** モニタが正常に作動しない場合、特に異常な音や臭いが発生する場合は、ただちに電源プラグを抜いて、デルテクニカルサポートに連絡してください。

 **注意：** 注意は、材質破損、身体の怪我、または死につながる可能性を示します。

本文書中の情報は、通知することなく変更することがあります。

© 2007 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も 厳禁します。

本テキストで使用した商標 *Dell*、*DELL* ロゴ、*Inspiron*、*Dell Precision*、*Dimension*、*OptiPlex*、*Latitude*、*PowerEdge*、*PowerVault*、*PowerApp* および *Dell OpenManage* は、Dell社の商標です。*Microsoft*、*Windows*、および *Windows NT*は、マイクロソフト社の登録商標です。*Adobe*はAdobe Systems社の商標で、一部の管轄区域で登録されていることがあります。*ENERGY STAR*は、米国環境保護省の登録商標です。*ENERGY STAR* パートナーとして、DELL社は、本製品がエネルギー効率に関して、*ENERGY STAR* ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

Model 1908WFP

八月 2007 Rev. A00

[目次ページに戻る](#)

## モニターについて

### Dell™ 1908WFPフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [製品の特徴](#)
- [部品とコントロールの確認](#)
- [モニター仕様](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェイス](#)
- [プラグアンドプレイ機能](#)
- [保守のガイドライン](#)

## 製品の特徴

1908WFPフラットパネルディスプレイにはアクティブマトリックス、薄膜トランジスタ(TFT)、液晶ディスプレイ(LCD)が搭載されています。モニターには、以下が含まれます。

- 19インチワイド(482.6 mm)表示可能領域のディスプレイ。
- 1440 x 900解像度、さらには低い解像度の場合は全画面サポート。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- 傾き、旋回、垂直拡張および回転調整機能。
- 取り外し可能台座とVESA 100 mm取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- システムでサポートされている場合、プラグアンドプレイ機能。
- オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルCDには、情報ファイル(INF)、画像カラーマッチングファイル(ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- 省エネ機能 (エネルギースターに準拠)。
- セキュリティロックスロット
- 資産管理。

## 部品とコントロールの確認

### 正面図

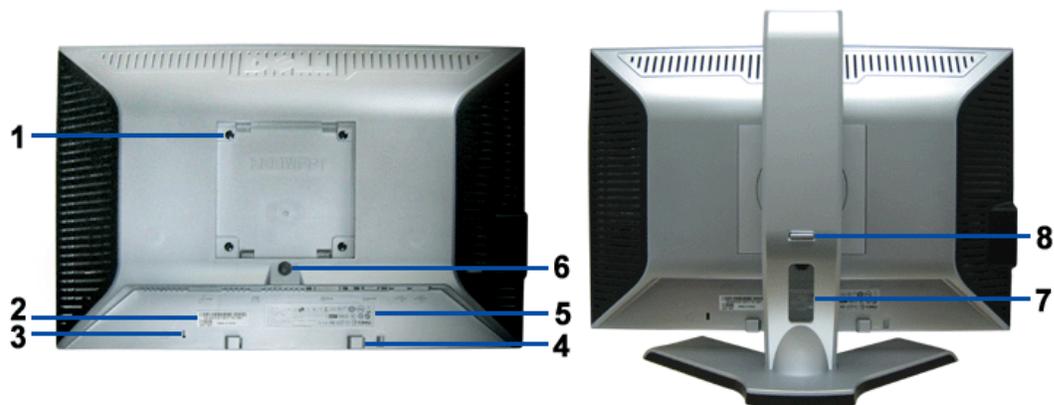


**1**   **2**   **3**   **4**   **5**

ラベル	説明
1.	入力選択

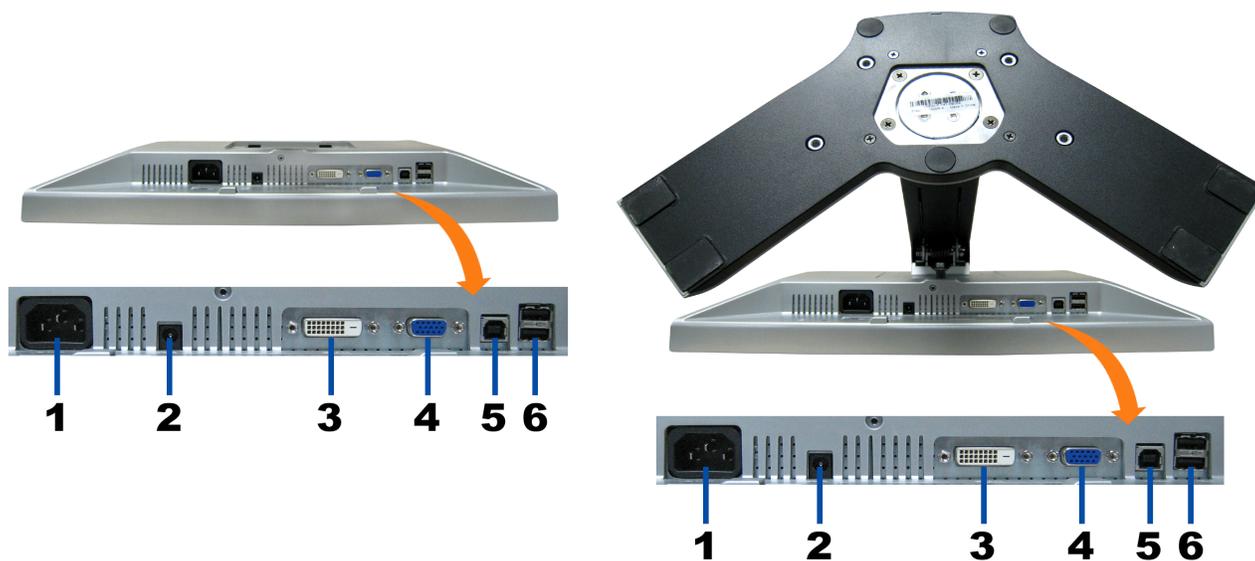
2.	OSDメニュー/選択ボタン
3.	明るさ/コントラスト/下ボタン
4.	自動調整/上ボタン
5.	電源ボタン (電源ライトインジケータ付き)

後方図



ラベル	説明	
1	VESA取付ホール(100mm) (取り付けたベースプレートの背面)	これを使って、モニターを取り付けます。
2	バーコード・シリアル番号ラベル	Dellのテクニカルサービスに問い合わせが必要な場合は、このラベルを参照してください。
3	セキュリティ・ロック・スロット	スロットのあるセキュリティ・ロックを使用して、モニターを固定します。
4	Dellサウンドバー取付ブラケット	オプションのDellサウンドバーを取り付けます。
5	規制定格ラベル	規制承認を表示します。
6	スタンド取外しボタン	押して、スタンドを取り外します
7	ケーブル・ホルダー	ケーブルをホルダーに入れて、ケーブルの操作をやすくします。
8	ロックダウン/取外しボタン	モニターを下方に押し、ボタンを押して、モニターのロックを解除します。次に、モニターを必要な高さまで持ち上げます。

底面図

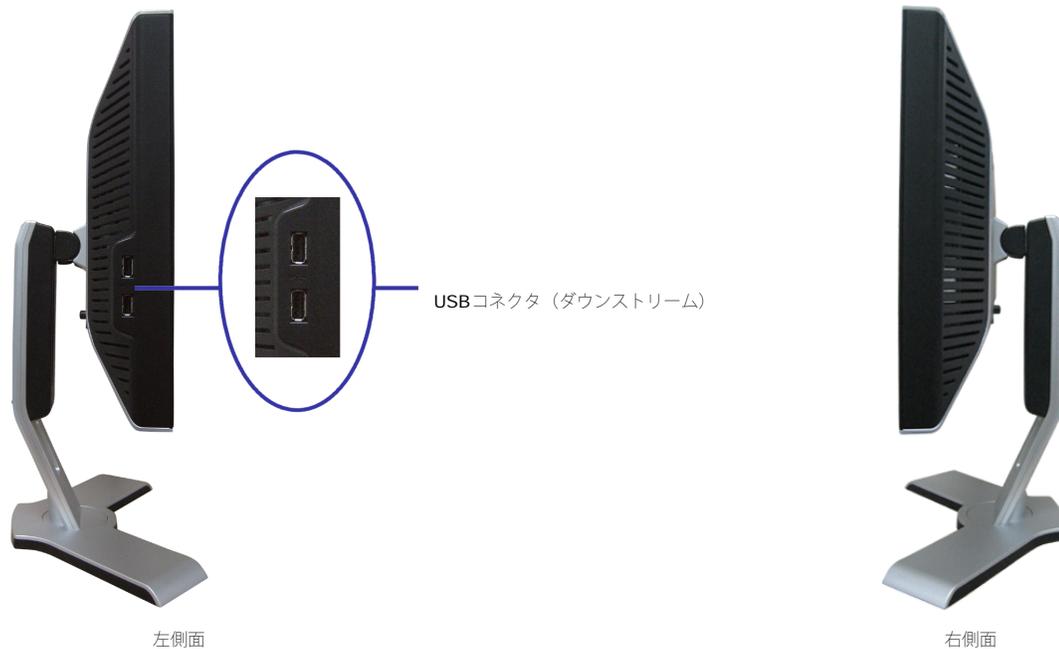


ラベル	説明	
1	電源コネクタ	電源ケーブルを挿入します。

2	Dellサウンドバー電源コネクタ	サウンドバー用電源コード（オプション）を接続します。
3	DVIコネクタ	コンピュータをDVIケーブルに接続します。
4	VGAコネクタ	コンピュータをVGAケーブルに接続します。
5	USBアップストリーム・コネクタ	モニターに接続されたUSBケーブルをモニターとコンピュータに接続します。このケーブルを接続すると、モニターの側面および底面にあるUSBコネクタを使用することができます。
6	USBコネクタ	USBデバイスを接続する。

 注意：このコネクタは、コンピュータおよびモニター上のUSBアップストリーム・コネクタ上にUSBケーブルを接続した後でのみ使用できます。

## 側面図



左側面

右側面

## モニター仕様

### 電源管理モード

VESA DPMTM 準拠ディスプレイ・カードまたはPC上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「電源セーブモード」と呼びます。キーボード、マウスまたはその他入力デバイスからの入力をコンピュータが検出すると、モニターが自動的に「立ち上がり」ます。次の表は、この自動電源セーブ機能の電源消費と信号を表したものです：

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケータ	電源消費
通常運転（DellサウンドバーおよびUSBが有効になっている場合）	有効	有効	有効	緑	75W（最大）
通常運転	有効	有効	有効	緑	32W（一般）
無効モード	無効	無効	空白	黄色	2W以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	1W以下

 注意：OSDは、「通常運転」モードでのみ機能します。無効モードで [メニュー] または [プラス] ボタンを押した場合に、次のメッセージのうち1つが表示されます。



または



または



コンピュータを有効にして、モニターを「立ち上げ」、[OSD](#)にアクセスします。

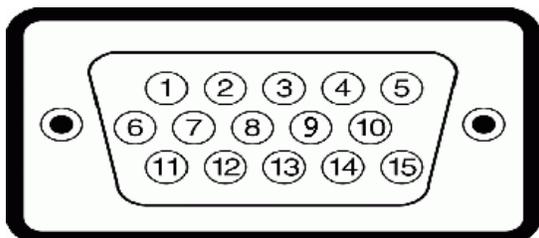
本モニターは、**ENERGY STAR**®-準拠で、TCO '99 / TCO '03 電源と互換性があります。



\* オフモードでのゼロ電源消費は、モニターからのメインケーブルを外してはじめて、有効になります。

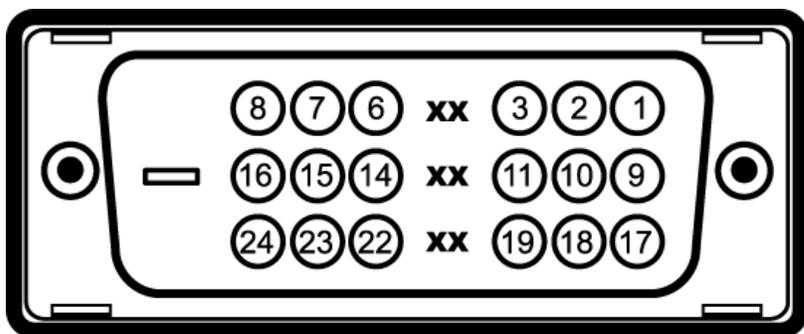
## ピン割当

### VGAコネクタ



ピン数	15ピン(接続された信号ケーブルの側面に表示)
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己診断テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	DDC +5V
10	GND-同期
11	GND
12	DDCデータ
13	H-同期
14	V-同期
15	DDCクロック

### DVI コネクタ



注意：Pin1は、上部右にあります。

ピン	24ピン(接続された信号ケーブルの側面に表示)	ピン	24ピン(接続された信号ケーブルの側面に表示)	ピン	24ピン(接続された信号ケーブルの側面に表示)
1	T.M.D.S. データ2-	9	T.M.D.S. データ1-	17	T.M.D.S. データ0-
2	T.M.D.S. データ2+	10	T.M.D.S. データ1+	18	T.M.D.S. データ0+
3	T.M.D.S. データ2シールド	11	T.M.D.S. データ1シールド	19	T.M.D.S. データ0シールド
4	ピンなし	12	ピンなし	20	ピンなし

5	ピンなし	13	ピンなし	21	ピンなし
6	DDCクロック	14	+5V電源	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	15	アース (+5V用)	23	T.M.D.S. クロック+
8	接続なし	16	ホットプラグ検出	24	T.M.D.S. クロック-

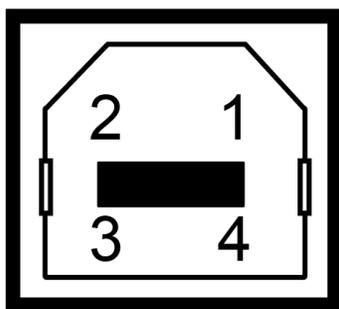
## ユニバーサル・シリアルバス (USB) インターフェース

このモニターは、高速認定USB2.0インターフェースをサポートしています。



	データ率	電源消費
高速	480Mbps	2.5W (最大、各ポート)
全速度	12Mbps	2.5W (最大、各ポート)
低速度	1.5Mbps	2.5W (最大、各ポート)

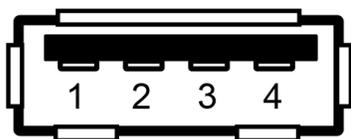
### USBアップストリームコネクタ



ピン番 4ピン(コネクタの側面に表示)

1	VCC
2	DMU
3	DPU
4	GND

### USBダウンストリームコネクタ



ピン番 4ピン(コネクタの側面に表示)

1	VCC
2	DMU
3	DPU
4	GND

USBポート：

- 1アップストリーム - 後方
- 4ダウンストリーム - 後方に2つ、左側面に2つ



注意：USB2.0機能には、2.0対応コンピュータが必要です。



注意：モニターのUSBインターフェースは、モニターの電源がオンになっている場合（あるいは電源セーブモードで）のみ作動します。モニターをオフして、もう一度オンにすることで、USBインターフェースを再度数え、付属の周辺機器が数秒後、通常機能に回復させます。

## プラグ・アンド・プレイ機能

プラグ・アンド・プレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ・データ・チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピュータシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID)を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。必要な場合、ユーザが、異なる設定を選択できますが、ほとんどの場合は、モニターは自動的にインストールします。

## 全般

モデル番号 1908WFP

## フラットパネル

スクリーン・タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
画面寸法	19インチ (19インチ表示可能画像サイズ)
事前設定ディスプレイ領域:	
水平	408.24 mm (16.07 インチ)
垂直	255.15 mm (10.04 インチ)
ピクセル・ピッチ	0.2835 mm
表示角度	160°(垂直) タイプ、 160°(水平) タイプ
ルミネンス出力	300 CD/m <sup>2</sup> (タイプ)
コントラスト比	1000 ~ 1 (タイプ)
面板コーティング	ハードコーティング3Hでの遮光
バックライト	CCFL (4) エッジライト・システム
応答時間	5 ms—般

## 解像度

水平走査幅	30KHz~83HK z (自動)
垂直走査幅	56Hz~75Hz (自動)
事前設定の最適解像度	60Hzで1440 x 900
事前設定の最高解像度	75Hzで1440 x 900

## ビデオサポートモード

ビデオ表示機能 (DVI再生) 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p (サポートHDCP)

## 事前設定ディスプレイ・モード

ディスプレイ・モード	水平周波数 (k Hz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル・クロック (MHz)	同期極 (水平/垂直)
VESA、 720 x 400	31.5	70.0	28.3	-/+
VESA、 640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、 800 x 600	37.9	60.3	49.5	+/+
VESA、 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、 1152 x 864	67.5	75.0	108	+/+
VESA、 1280 x 800	61.6	59.81	83.5	+/-
VESA、 1280 x 1024	64.0	60.0	135.0	+/+
VESA、 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、 1440x900	55.9	60	106.5	-/+

## 電気系統

ビデオ入力信号	アナログRGB、0.7ボルト +/-5%、正電極が75オーム入力インピーダンス デジタル DVI-D TMDS、50オーム入力インピーダンスで各微分線、正電極に対して600mV
同期入力信号	個別水平および垂直同期、電極フリーTTLレベル、SOG（複合同期オン・グリーン）
AC入力電圧/周波数/電流	100 ~ 240 VAC / 50 または 60 Hz + 3 Hz / 1.5A（最大）
インラッシュ電流	120V: 30A（最大） 240V: 60A（最大）

## 物理 特性

コネクタ・タイプ	15-pin D-subミニ、青コネクタ、DVI-D、白コネクタ
信号ケーブル・タイプ	デジタル：取り外し可能、DVI-D、固定ピン、モニタから取りはずして出荷 アナログ：取外可能、D-Sub、15pins、出荷時はモニターに取付

### 寸法（スタンド付き）：

高さ（圧縮）	12.54 inches (318.60 mm)
高さ（拡張）	17.27 inches (438.60 mm)
幅	17.43 inches (442.75 mm)
奥行き	7.38 inches (187.41 mm)

### 寸法：（スタンドなし）

高さ	11.50 inches (292.10 mm)
幅	17.43 inches (442.75 mm)
奥行き	2.36 inches (60.00 mm)

### スタンド寸法：

高さ（圧縮）	14.23 inches (361.55 mm)
幅	14.46 inches (367.40 mm)
奥行き	7.38 inches (187.41 mm)

重さ（パッケージ含む） 16.26 lbs (7.375 kg)

重さ（スタンド・アセンブリとケーブル含む） 13.10 lbs (5.94 kg)

重さ（スタンド・アセンブリなし） 8.49 lbs (3.85 kg)

（壁取付またはVESA取付用 - ケーブルなし）

スタンド・アセンブリの重さ 3.4 lbs (1.54 kg)

## 環境

温度：	
運転時	5° ~ 35°C (41° ~ 95°F)
運転停止時	ストレージ： -20° ~ 60°C (-4° ~ 140°F) 出荷時 -20° ~ 60°C (-4° ~ 140°F)
湿度：	
運転時	10% ~ 80%（結露しないこと）

運転停止時	ストレージ： 5%~90% (結露しないこと) 出荷時： 5%~90% (結露しないこと)
高度：	
運転時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
運転停止時	12,192 m (40,000 ft) 最大
熱発散	225.08 BTU/時 (最大) 119.50 BTU/時 (一般)

---

## 保守のガイドライン

### モニターの手入れ

-  注意： モニターの清掃前には、[安全指示書](#)を読み、従ってください。
  -  注意： モニターの清掃前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。
  - 静電気防止スクリーンを清掃するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン清掃ティッシュまたは静電気防止コーティングに適した溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
  - 軽く湿らせた、暖かい布を使って、プラスチックを清掃します。洗剤には、プラスチック上に乳膜を残すものがありますので、使用は避けてください。
  - モニターを外したときに白い粉末がある場合は、布で拭きとってください。この白い粉末は、モニターの出荷時に発生します。
  - 暗いプラスチックは、明るいプラスチックより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取扱には注意してください。
  - モニターの最高の画像品質を保てるように、ダイナミックに変化するスクリーンセーバーを使用し使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。
- 

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

## モニターを設定する

Dell™ 1908WFPフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [スタンドを取り付ける](#)
- [モニターを接続する](#)
- [ケーブルを調整する](#)
- [Dellサウンドバー（オプション）を使う](#)
- [スタンドを取り外す](#)

---

### スタンドを取り付ける

 注意：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外し、拡張します。

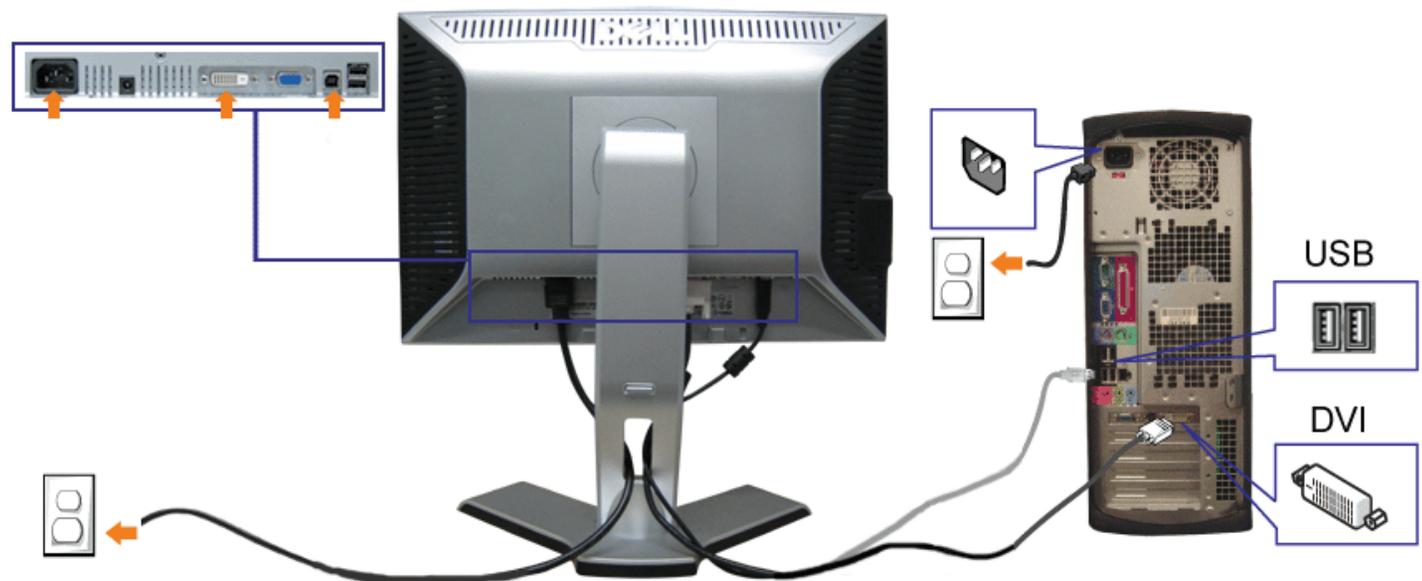


- スタンドの2つのタブにモニターの溝を固定します。
- スタンドにしっかりとロック、固定されるまで、モニターを下ろします。

---

### モニターを接続する

 注意：このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。



または



1. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
2. 白DVIまたは青VGAケーブルをコンピュータおよびモニターのコネクタに接続します。
3. モニターに付属しているUSBケーブルをコンピュータおよびモニター上のアップストリームUSBコネクタに接続します。このケーブルをコンピュータおよびモニターに接続すれば、モニター上のUSBコネクタを使用できます。
4. USBデバイスを接続する。

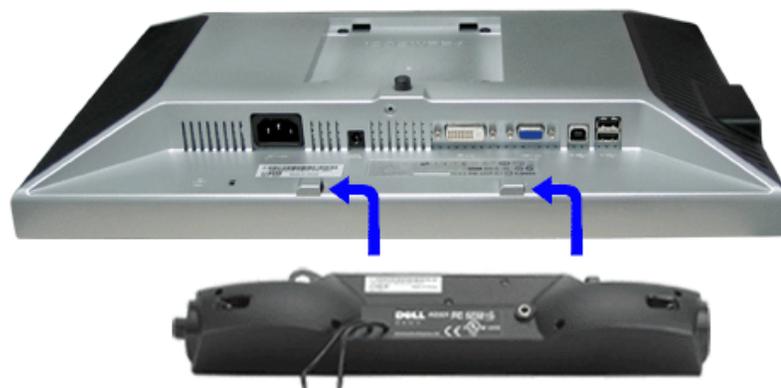
5. 電源ケーブルを接続する。
6. モニターおよびコンピュータの電源をオンにします。画像が見えない場合は、入力選択ボタンを押し、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。それでも画像が映らない場合は、[モニターのトラブルシューティング](#)を参照してください。

## ケーブルを調整する



モニターおよびコンピュータに必要なケーブルすべてを取り付けた後、(ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください) 上記のとおり、ケーブル・ホルダを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

## モニターにサウンドバーを取り付ける



1. モニター背面から、2つのスロットをモニター背面の下部沿いにある2つのタブに合わせながら、サウンドバーを取り付けます。
2. サウンドバーが所定の位置にはめ込まれるまで、サウンドバーを左側にスライドさせます。
3. 電源コードをサウンドバーからモニター後部のコネクタに差し込みます。

4. サウンドバー背面から出る黄緑色のミニステレオプラグを、コンピュータのオーディオ出力ジャックに挿入します

➡ 注：サウンドバーの電源コネクタ - 12V DC出力は、オプションのDell™サウンドバー専用です。

➡ 注記： Dell サウンドバー以外のデバイスと一緒に使用しないでください。

## スタンドを取り外す



➡ 注記： モニター・パネルを柔らかい布またはクッションの上に置いた後、次の手順でスタンドを取り外します。

□□□ スタンドを回転させて、スタンド解除ボタンにアクセスできるようにします。

□□□ スタンド解除ボタンを押し、スタンドを持ち上げながらモニターから取り外します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

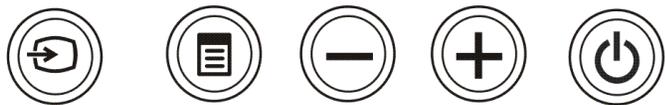
## モニタの操作

### Dell™ 1908WFPフラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

- [正面パネルボタンを使う](#)
- [オンスクリーンディスプレイ\(OSD\)メニューの使用](#)
- [最適解像度を設定する](#)
- [サウンドバー\(オプション\)を使う](#)
- [傾き、旋回および垂直拡張を使う](#)
- [モニターを回転させる](#)
- [オペレーティングシステムの回転設定の調整](#)

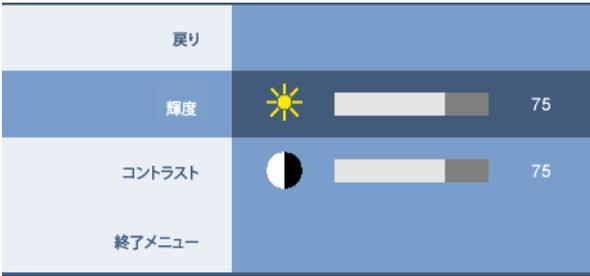
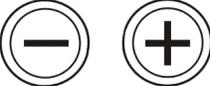
### 正面パネルボタンを使う

モニター前面のボタンを使用して画像設定を調整します。



A B C D E

A	 <p>入力選択</p>	<p>入力選択ボタンを使って、モニターに接続する2つの異なるビデオ信号の間のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● VGA 選択</li> <li>● DVI-D 選択</li> </ul> <p>注意：モニターがビデオ信号を感知できない場合、（黒背景に対して）<b>[Dell-自己テスト機能チェック]</b> ダイアログボックスが別に表示されます。選択した入力によって、下に表示されるダイアログの<b>1</b>つが継続してスクロールされます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #2c3e50; color: white; text-align: center;">  <p>1: 自動検出 (アナログ入力 ) VGAケーブルなし</p> </div> <p>または</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #2c3e50; color: white; text-align: center;">  <p>1: 自動検出 (デジタル入力 ) DVI ケーブルなし</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #2c3e50; color: white; text-align: center;">  <p>2: アナログ入力 VGAケーブルなし</p> </div> <p>または</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #2c3e50; color: white; text-align: center;">  <p>3: デジタル入力 DVIケーブルなし</p> </div> </div> <p>VGAまたはDVI-D入力を選択されているがVGAとDVI-Dケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #2c3e50; color: white; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>PCからの信号なし。キーボードの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックするか、 モニタの"Input"ボタンを押すと、他の入力を切り替える。</p> </div>
B	 <p>OSDメニュー/選択</p>	<p>メニューボタンを使って、画面上表示 (OSD)を開いて終了し、メニューおよびサブメニューを終了します。 <a href="#">OSDメニューを使う</a>。</p>
C		<p>「明るさ」および「コントラスト」コントロールメニューに直接アクセスするには、このボタンを使用します。</p>

	 輝度/コントラスト	
C D	 ダウン (-) およびアップ (+)	これらのボタンを使って、OSDメニューの項目（幅の減少/増加）を調整します。
D	 自動調整	選択すると、自動設定および調整が有効になります。モニターが電流入力を自己調整するとき、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示されます。  自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセル・クロック（粗い）、フェーズ（微調整）コントロールを使って、モニターをさらに調整できます。
E	 電源ボタンとインジケータ	電源ボタンを使って、モニターをオンおよびオフにします。 緑のライトは、モニターがオンで、完全に機能していることを表します。別のライトは、電源セーブ・モードを表します。

## オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの使用

### メニューシステムへのアクセス

 注：設定を変更し、別のメニューに進むか、またはOSDメニューを終了する場合、モニターは、その変更を自動的に保存します。変更は、設定を変更し、OSDメニューが消えるのを待つ場合も保存されます。

□□□メニューボタンを押して、OSDメニューを開き、メインメニューを表示します。

アナログ (VGA) 入力用メインメニュー



または

デジタル (DVI) 入力用メインメニュー



 注意：位置決めおよび画像設定は、アナログ (VGA) コネクタの使用時のみ利用できます。

- - および + ボタンを押して、設定オプションを移動します。アイコンからアイコンに移動するときに、オプション名をハイライトします。モニター用に利用できるオプションすべての完全リストは、下表を参照してください。
- メニューボタンを一回押して、ハイライトされたオプションを有効にします。
- - および + ボタンを押して、必要なパラメータを選択します。
- メニューを押して、スライドバーを入力し、次に、メニュー上のインジケータにしたがって、- および + ボタンを使って、変更します。
- メニューボタンを一回押して、メインメニューに戻り、別のオプションを選択するか。
- メニューボタンを2回または3回押して、OSDメニューを終了します。

アイコン	メニューおよびサブメニュー	説明
	終了	メインメニューを選択して、終了します。
	明るさ/コントラスト	<p>明るさで、バックライトのルミナンスを調整します。</p> <p>最初に明るさを調整し、さらに調整が必要な場合のみ、次にコントラストを調整します。</p> <p>+ ボタンを押して、ルミナンスを上げるか、- ボタンを押して、ルミナンスを下げます（最小0～最大100）。</p> <p>コントラストで、モニタースクリーンの暗さと明るさの程度を調整します。</p> <p>+ ボタンを押して、コントラストを上げるか、- ボタンを押して、コントラストを下げます（最小0～最大100）。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
	自動調整	<p>コンピュータで、起動時にモニターを認識している場合でも、自動調整機能で、特定設定に使う表示設定を最適化できます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>ほとんどの場合、自動調整で、設定に最適な画像が生成されます。</p> <p>注: <b>DVI</b> を使用しているとき、自動調整は使用できません。</p>
	入力ソース	必要とする正しい入力ソースを選択します。入力アナログ信号が必要な場合、 <b>VGA</b> を選択し、入力デジタル信号が必要な場合、 <b>DVI-D</b> を選択します。



プリセットモード:

入力カラー形式

モニタが **VGA** または **DVI** ケーブルを使用して **PC** または **DVD** に接続されている場合、**RGB** オプションを選択します。モニタが **YPbPr** ケーブルによって **DVD** に接続されている場合は **YPbPr** オプション、**YPbPr** ケーブルによって **VGA** に接続されている場合または **DVD** カラー出力設定が **RGB** でない場合は **DVI** を選択します。

ガンマ

**PC** または **MAC** を選択することで **OSD** 値を調整できます。

カラー設定モード

信号入力のタイプに従って、グラフィックスまたはビデオを選択できます。**PC** がモニタに接続されている場合、グラフィックスを選択してください。**DVD** または **STB** または **VCR** がモニタに接続されている場合、ビデオを選択するようにお奨めします。

プリセットモード

グラフィックスを選択するとき、デスクトップ、マルチメディア、ゲーム、**sRGB**、ウォーム、クール、またはカスタムプリセットを選択できます。

- **PC** を介して写真やクリップなどのメディアアプリケーションを表示する場合、「マルチメディア」プリセットを選択してください。
- **PC** でゲームをプレーする場合、「ゲーミング」プリセットを選択します。
- 低い色温度 (**5700K**) がお好みの場合、「ウォーム」プリセットを選択してください。
- 高い色温度がお好みの場合、「クール」プリセットを選択してください。
- カスタム (**R,G,B**) プリセットでは、**6500K** 色の範囲を提供します。
- パネルのネイティブカラーフォーマットを利用するには、「デスクトップ」を選択します。
- 赤い色合いを付けるにはウォーム(赤)プリセットを選択します。この色設定は、色強度アプリケーション用に使用されます (写真イメージ編集、マルチメディア、ムービーなど)。
- 青い色合いを付けるにはクール(青)プリセットを選択します。この色設定はテキストベースのアプリケーション (スプレッドシート、プログラミング、テキストエディタなど) で使用されます。
- カスタムプリセットを選択して、**0~100**まで**1**桁ずつ、**3**色それぞれ (**R**、**G**、**B**)を増減します。



ビデオを選択するとき、ムービー、ゲーム、スポーツ、またはネーチャープリセットを選択できます。

- ムービーを再生する場合、「ムービー」プリセットを選択します。
- ゲームをプレーする場合、「ゲーム」プリセットを選択します。
- スポーツプログラムをプレーする場合、「スポーツ」プリセットを選択します。
- 一般的な画像またはWebを表示する場合またはテレビを視聴する場合、「ネーチャー」プリセットを選択します。初期設定に基づき、「色合い」/「彩度」を調整することができます。既定値の色設定を復元する場合、「色リセット」を選択します。
- 「色リセット」プリセットを選択して既定(工場出荷時)の「色」設定を復元します。この設定は、sRGB標準の既定の色スペースにもなります。



## ディスプレイ設定:

画像の水平位置を調整するには、- および + ボタンを使って、画像を左右に移動させます。

画像の垂直位置を調整するには、- および + ボタンを使って、画像を上下に移動させます。

この機能により、文字定義を調整できます。- および + ボタンを使って、0~100の範囲を調整します。

フェーズおよびピクセル・クロック調整で、モニターをお好みにあわせ微調整することができます。これらの設定は、「画像」設定を選択することで、メインOSDメニューからアクセスできます。

-および+ボタンを使って、調整します(最小: 0 ~ 最大: 100)

フェーズ調整を使った結果がよくない場合、ピクセル・クロック(粗い)を使い、次にフェーズ(細かい)をもう一度使います。

注: この機能で、表示画像幅を変更できます。位置メニューの水平機能を使って、スクリーン上の表示画像をセンタリングします。

水平位置

垂直位置

シャープネス

周波数(粗い) および フェーズ(細かい)

ディスプレイ情報

ディスプレイリセット

This screenshot shows the 'ディスプレイ情報' (Display Information) menu. It features a '戻る' (Back) button at the top. Below it are several settings, each with an icon, a slider, and a numerical value of 50: '水平位置' (Horizontal Position), '垂直位置' (Vertical Position), 'シャープネス' (Sharpness), '周波数' (Frequency), and 'フェーズ' (Phase). At the bottom, there are three options: 'ディスプレイ情報' (Display Information) which leads to 'モニタ情報' (Monitor Information), 'イメージリセット' (Image Reset) which leads to 'カラーの初期設定にリセットします' (Reset to initial color settings), and '終了メニュー' (Exit Menu).

This screenshot shows the main OSD menu with seven options: '終了' (Exit), '輝度 & コントラスト' (Brightness & Contrast), '自動調整' (Auto Adjust), '入力信号' (Input Signal), 'プリセットモード' (Preset Mode), 'ディスプレイ設定' (Display Settings), and 'その他の設定' (Other Settings). The 'ディスプレイ設定' option is highlighted.

このオプションを選択して、ソース、解像度および最適解像度などのモニタ情報を表示します。

デフォルトのディスプレイ設定を復元するには、このオプションを選択します。

その他の設定:

言語

このオプションを選択して、OSDの場所、メニューが画面に表示される時間、OSDの回転など、OSDの設定を調整します。

このオプションで、OSDディスプレイの言語(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、または日本語)を選択します。  
注意：変更によって、OSDにだけ影響がでますが、コンピュータで実行されているソフトウェアには影響を与えません。

This screenshot shows the '言語' (Language) selection menu. It has a '戻る' (Back) button at the top. The menu lists five languages: 'English', 'Español', 'Français', 'Deutsch', and '日本語' (Japanese), which is highlighted with a yellow background. At the bottom, there is a '終了メニュー' (Exit Menu) option.

This screenshot shows the main OSD menu with seven options: '終了' (Exit), '輝度 & コントラスト' (Brightness & Contrast), '自動調整' (Auto Adjust), '入力信号' (Input Signal), 'プリセットモード' (Preset Mode), 'ディスプレイ設定' (Display Settings), and 'その他の設定' (Other Settings). The 'その他の設定' option is highlighted.

メニューの透明度

このオプションを使用し - または + ボタンを押してメニューの透明度を変更します( 最小: 0 ~ 最大 :100 ).

メニュータイマ

メニューロック

メニュー回転

オーディオ (オプション)

DDC/CI

LCDコンディショニング

出荷時にリセット



OSDは、使用中は有効のままになります。ホールドタイムを調整し、最後にボタンを押した後にOSDが有効になっている時間を設定します。- および + ボタンを使って、5~60秒までで、5秒ずつスライダーを調整します。

調整に対するユーザアクセスを管理します。[はい] (+) を選択した場合、ユーザ調整はできません。メニューボタン以外は、ボタンはすべて、ロックされます。

注意: OSDがロックされている場合、メニューボタンを押すと、OSDロックを選択した状態で、ユーザは直接OSD設定メニューに進みません。[いいえ] (-) を選択して、ロック解除して、ユーザは適用可能なすべての設定にアクセスできます。

注意: メニューボタンを15秒間押し続けて、OSDをロックまたはロック解除することもできます。

要求を調整すると、メニューは水平位置または垂直位置に回転できます。

モニターが電源セーブ・モードの場合、オーディオをオンまたはオフにするように選択できます。

はい オーディオを有効にします  
いいえ オーディオを無効にします(既定値)

注意: Dellサウンドバーがモニターに適切に接続されていない場合、オーディオメニューは利用できません。

データチャネル/コマンドインターフェイスの表示により、PCのソフトウェアアプリケーションを通してモニタのパラメータ(明るさ、色、バランスなど)を調整できます。

PCアプリケーションを使用してディスプレイ設定を調整する機能は無効になります。  
続行しますか? -いいえ はい+

「無効」を選択することで、この機能を無効にできます。

モニターのユーザー体験を最高にし最適なパフォーマンスを達成するために、この機能は常に有効にしておいてください。

注:**DDC/CI**に対して「無効」を選択すると、警告メッセージが画面に表示されます。必要に応じて、「はい」または「いいえ」を選択できます。

画像リテンションにかかる負担を軽減できます。画像リテンションの程度に従って、プログラムの実行時間が変わります。「有効」を選択することで、この機能を有効にできます。

この機能はまれに生じる残像を削減するのに役立ちます。  
残像の度合いによりプログラムを実行するまで時間がかかることがあります。-いいえ はい+

OSDメニュー・オプションを工場出荷時事前設定値にリセットします。

すべての設定をリセット: 色、位置、明るさ、コントラスト、メニューの透明度、およびOSDホールドタイムを含めたユーザ調整可能設定すべてを工場出荷時のデフォルト設定に戻します。OSDの言語は、変更されません。

## OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

<p>1: 自動検出 (アナログ入力 )</p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ 解像度に 1440 X 900 @ 60Hz を設定してください</p>	または	<p>1: 自動検出 (デジタル入力 )</p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ 解像度に 1440 X 900 @ 60Hz を設定してください</p>
<p>2: アナログ入力 </p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ 解像度に 1440x900 @ 60Hz を設定してください</p>	または	<p>3: デジタル入力 </p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ 解像度に 1440 X 900 @ 60Hz を設定してください</p>

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。モニターで使用するには、信号が高すぎるか、または低すぎます。このモニターで使用できる水平および垂直周波数幅については、[仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1440 X 900 @ 60Hzです。

 注: モニターがビデオ信号を感知できない場合は、**Dell**自己テスト機能チェックダイアログが別に表示されます。

 <p>1: 自動検出 (アナログ入力 ) VGAケーブルなし</p>	または	 <p>1: 自動検出 (デジタル入力 ) DVI ケーブルなし</p>
 <p>2: アナログ入力  VGAケーブルなし</p>	または	 <p>3: デジタル入力  DVIケーブルなし</p>

警告メッセージが何も表示されないことがあります。スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないことも表しています。

モニターが省電力モードに入ると、次のメッセージが表示されます。

## パワーセービング

コンピュータを有効にしてモニターを立ち上げ、OSDにアクセスします。

詳細は、[問題を解決する](#) を参照してください。

### 最適解像度を設定する

- デスクトップを右クリックして、プロパティを選択します。
- 設定タブを選択します。
- 画面解像度を1440 x 900に設定します。
- OK**をクリックします。

オプションとして1440 x 900がない場合は、グラフィック・ドライバを更新する必要があります。コンピュータによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

Dellデスクトップまたはポータブル・コンピュータをご使用の場合：

- [support.dell.com](http://support.dell.com)に進み、サービス・タグを入力し、グラフィックス・カードに最新のドライバをダウンロードします。

Dell以外のコンピュータ（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- コンピュータのサポートサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス・カード・ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス・ドライバをダウンロードします。

### Dellサウンドバー（オプション）を使う

DellサウンドバーはDellフラットパネルディスプレイの取り付けに適した2つのチャンネルシステムから成っています。?サウンドバーには全体システム・レベルを調整する回転音量とオン/オフ・コントロール、電源表示用の青のLEDおよびオーディオ・ヘッドセット・ジャック2つが搭載されています。

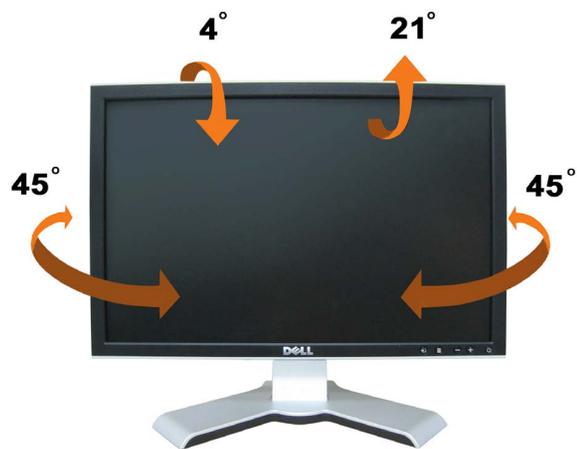


1. 電源/音量調節
2. 電源インジケータ
3. ヘッドフォン・コネクタ

### 傾き、旋回および垂直拡張を使う

#### 傾き/旋回

付属の台を使って、モニターをもっとも見やすい角度に傾けたり、および/または旋回したりできます。



 注意：モニターを工場から出荷するときには、スタンドを取外し、拡張します。

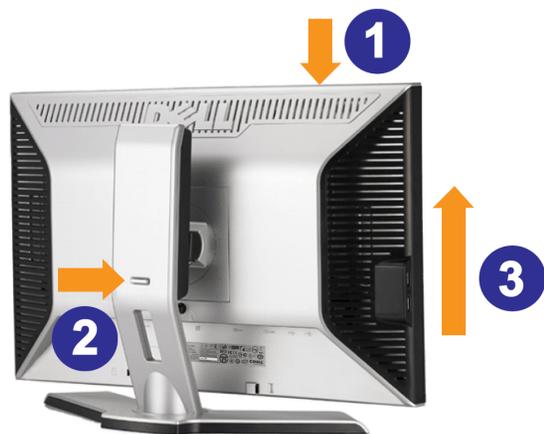
### 垂直拡張

スタンドは、スタンド・ロック/解除ボタン最大4.72インチ（120mm）まで、垂直に調整できます。モニターをスタンドの上下にスライドすることによって、目的の位置に調整することができます。



 注意：下の位置にロックされている場合、

1. モニタを下に押しします。
2. スタンドの背面下のロック下/リリースボタンを押して、モニタのロックを解除します。
3. モニタを上を持ち上げて、スタンドを目的の高さまで延長します。



 注意： モニターを新しい場所に移動する前に、カチッと音がして正位置に収まるまでモニターを下ろして、スタンドをロックします。

## モニターの回転を変更する

モニターを回転させる前に、モニターの下の方が回りにぶつからないように高さ ([縦に伸ばす](#)) と角度 ([傾き](#)) を調整してください。





**注意：** Dell コンピュータでディスプレイ回転機能(横対縦表示)を使用するには、このモニタに含まれていない最新のグラフィックスドライバが必要です。最新のグラフィックスドライバをダウンロードして更新するには、[support.dell.com](http://support.dell.com)に移動し、ビデオドライバのダウンロードセクションを参照してください。

**注意：** 縦表示モードに入っているとき、グラフィックを大量に使用するアプリケーション(3Dゲームなど)でパフォーマンスが落ちることがあります。

## オペレーティングシステムの回転設定の調整

モニターを回転させて使用する場合、オペレーティングシステムにて次の手順を踏んでください。

**注意：** Dell コンピュータ以外でモニターを使用している場合、グラフィックス・ドライバのウェブサイトまたはお使いのコンピュータの製造元ウェブサイトに進み、オペレーティング・システムの回転についての情報を確認します。

- デスクトップを右クリックして、プロパティをクリックします。
- 設定タブを選択し、アドバンスドをクリックします。
- ATIがある場合は、回転タブを選択して、お気に入りの回転を設定します。  
nVidiaがある場合は、nVidiaタブをクリックして、左カラムでNVRotateを選択し、次にお気に入りの回転を選択します。
- Intelがある場合は、Intelグラフィックス・タブを選択して、グラフィックス・プロパティをクリックし、回転タブを選択し、次にお気に入りの回転を設定します。

**注意：** 回転オプションがない場合、または正常に作動しない場合は、[support.dell.com](http://support.dell.com)で、グラフィックス・カード用の最新ドライバをダウンロードしてください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

## 問題を解決する

**Dell™ 1908WFP** フラットパネルカラーモニターユーザズガイド

- [モニターのトラブルシューティング](#)
- [全般問題](#)
- [製品別の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス固有の問題](#)
- [Dell サウンドバーのトラブルシューティング](#)

 注意：このセクションで手続きをはじめる前に、[安全指示書](#)にしたがってください。

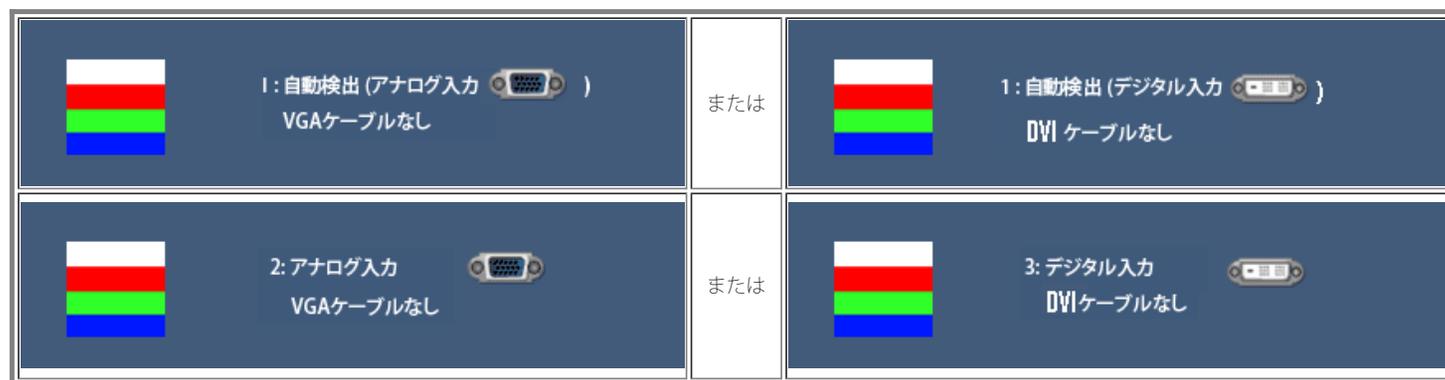
## モニターのトラブルシューティング

### 自己テスト機能チェック (SIFC)

お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが適切に接続されていて、モニタースクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- コンピュータとモニター両方の電源をオフにする。
- コンピュータの後ろかビデオ・ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタル（白コネクタ）とアナログ（黒コネクタ）ケーブル両方を外します。
- モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を感知できない場合は、（黒背景に対して）[Dell-自己テスト機能チェック] ダイアログボックスが別に画面上に表示されます。自己テスト・モードでは、電源LEDが緑になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの1つが画面上をスクロールし続けます。



- ビデオ・ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。
- モニターの電源をオフにして、ビデオ・ケーブルを再接続し、次にコンピュータとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター・スクリーンに何も表示されない場合、ビデオ・コントローラおよびコンピュータ・システム、およびモニターが適切に機能していることをチェックしてください。

## OSD警告メッセージ

次の警告メッセージのうち1つが、スクリーンに表示され、モニターが同期していないことを表します。

<p><b>1: 自動検出 (アナログ入力  )</b></p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ解像度に <b>1440 X 900 @ 60Hz</b> を設定してください</p>	または	<p><b>1: 自動検出 (デジタル入力  )</b></p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ解像度に <b>1440 X 900 @ 60Hz</b> を設定してください</p>
<p><b>2: アナログ入力  )</b></p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ解像度に <b>1440x900 @ 60Hz</b> を設定してください</p>	または	<p><b>3: デジタル入力  )</b></p> <p>入力信 はサポ ト範 以外です このビデオモ ドは表示できません PC のモニタ解像度に <b>1440 X 900 @ 60Hz</b> を設定してください</p>

これは、モニターがコンピュータから受信している信号と同期できないことを意味します。信号が、モニターが使用するには高すぎるか、または低すぎます。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、**1440 X 900 @ 60Hz**です。

警告メッセージが何も表示されないことがありますが、スクリーンには何も表示されません。これは、モニターがコンピュータに同期していないか、またはモニターが電源セーブ・モードになっているかを表しています。

## 全般問題

次の表には、考えられるモニターに関する全般的な問題情報が記載されています。

一般症状	問題の説明	解決方法
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、モニターが無効	ビデオ・ケーブルの両端の接続統合をチェックしたら、モニターとコンピュータが、通電している電源コンセントに接続されていること、また電源ボタンを押していることを確認します
ビデオなし/電源LEDオフ	画像なし、または明るさが低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター正面にある入力選択ボタンを押して、入力ソースが正しく選択されていることを確認します。</li> <li>明るさとコントラスト・コントロールをアップします。</li> <li>モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。</li> <li>ビデオ・ケーブルの両端のピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> <li>コンピュータとモニターをリポートします。</li> </ul>
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>ビデオ拡張ケーブルを外します。</li> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>ビデオ解像度を下げるか、フォント・サイズを大きくします。</li> </ul>
ビデオが揺れたり/ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>モニター・リセットを行います。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境係数をチェックします。</li> <li>場所を変えて、他の部屋でテストします。</li> </ul>
ピクセルが抜けている	LCDスクリーンに点が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクル電源オン・オフ</li> <li>これらは、永久にオフになっているピクセル、およびLCD技術で発生する自然な欠陥です。</li> </ul>
明るさの問題	画像が薄すぎるか、明るすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>明るさとコントラスト・コントロールを調整します。</li> </ul>
幾何歪曲	スクリーンが正確にセンタリングされていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>[位置設定のみ] でモニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>センタリング・コントロールを調整します。</li> <li>モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。</li> </ul>
水平/垂直ライン	スクリーンに複数の線が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> </ul>
同期問題	スクリーンがスクランブル状態か、磨り減って見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>自動調整ボタンを押します。</li> <li>OSDで、フェーズとクロック・コントロールを調整します。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。</li> <li>ピンが曲がったり、壊れていないかどうかをチェックします。</li> <li>[セーフティ・モード] でブートアップします。</li> </ul>
LCDに傷が入っている	スクリーンに傷やスマッジが入っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源をオフにして、スクリーンを清掃します。</li> <li>清掃方法については、<a href="#">モニターの手入れ</a>を参照してください。</li> </ul>
安全関連問題	スモークまたはスパークの明らかな症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラブルシューティング手順を実行しないでください。</li> <li>モニターの交換が必要です。</li> </ul>
断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターが適切なビデオ・モードになっていることを確認します。</li> <li>コンピュータおよびフラットパネルへのビデオ・ケーブル接続がしっかりされていることを確認します。</li> <li>モニター・リセットを行います。</li> <li>モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。</li> </ul>
画像の解像度(聖しか像から)	静止画像からのかすかな影画面にディスプレイが表示されます	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源管理機能を使用して、使用していないときは常にモニターの電源をオフにしてください。また、ダイナミックに変更するスクリーンセーバーを使用します。長期間モニタに残ります。</li> </ul>

## 製品別の問題

特定の症状	現況	解決方法
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>[すべて設定] でモニター・リセットを行います。</li> </ul>
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSDがスクリーン上に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差して、電源を入れます。</li> </ul>

## ユニバーサルシリアルバス固有の問題

特定の症状	現況	解決方法
USBインターフェースが作動していない	USB周辺機器が作動していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターの電源がオンになっているかをチェックします。</li> <li>アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>USB周辺機器（ダウンストリーム・コネクタ）を再接続します。</li> <li>電源をオフにして、もう一度モニターをオンにします。</li> </ul>
高速USB2.0インターフェースが遅い	高速USB2.0周辺機器が遅いか、まったく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータがUSB2.0対応かどうかをチェックします。</li> <li>コンピュータのUSB2.0ソースを確認します。</li> <li>アップストリーム・ケーブルをコンピュータに再接続します。</li> <li>USB周辺機器（ダウンストリーム・コネクタ）を再接続します。</li> </ul>

## Dell サウンドバーのトラブルシューティング

一般症状	現況	解決方法
音が出ない	サウンドバーに電源が入らない - 電源インジケータがオフになっている (内臓DC電源, 例.1905FP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを中間位置に対して時計回りに回します。サウンドバー正面の電源インジケータ（緑LED）が点灯するかどうかを確認します。</li> <li>サウンドバーからの電源ケーブルがモニターに差し込まれていることを確認します。</li> <li>モニターの電源が入っていることを確認します。</li> <li>モニターに電源が入っていない場合、モニターの一般問題について<a href="#">モニターに関するトラブルシューティング</a>を参照してください。</li> </ul>
音が出ない	サウンドバーの電源が入っている - 電源インジケータがオンになっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ・ラインイン・ケーブルをコンピュータのオーディオ・アウト・ジャックに差し込みます。</li> <li>すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。</li> <li>コンピュータでオーディオ・コンテンツをいくつか再生します（例.オーディオCDまたはMP3）。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを高音量設定に対して時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例.ポータブルCDプレイヤー）。</li> </ul>
音が曲がっている	コンピュータのサウンドカードをオーディオ・ソースとして使います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>すべてのWindowsの音量コントロールを中間に設定します。</li> <li>オーディオ・アプリケーションの音量を下げます。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> <li>別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例.ポータブルCDプレイヤー）。</li> </ul>
音が曲がっている	その他のオーディオ・ソースを使います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>オーディオ・ソースの音量を下げます。</li> <li>サウンドバーの電源/音量ノブを低音量設定に対して反時計回りに回します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> </ul>
音出力がアンバランス	サウンドバーの片側からだけ音が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。</li> <li>オーディオ・ラインイン・プラグがサウンドカードまたはオーディオ・ソースのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。</li> <li>すべてのWindowsオーディオ・バランス・コントロール（L-R）を中間に設定します。</li> <li>オーディオ・ライン・プラグを清掃して、リセットします。</li> <li>コンピュータのサウンドカードのトラブルシューティング</li> </ul>

- 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例、ポータブルCDプレイヤー）。

低音量

音量が低すぎる

- サウンドバーとユーザの間の障害物を取り除きます。
- サウンドバーの電源/音量ノブを最大音量設定に対して時計回りに回します。
- すべてのWindowsの音量コントロールを最大に設定します。
- オーディオ・アプリケーションの音量を上げます。
- 別のオーディオ・ソースを使って、サウンドバーをテストします（例、ポータブルCDプレイヤー）。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

## 付録

**Dell™ 1908WFP** フラットパネルカラーモニターユーザズガイド

- [安全指示](#)
- [FCC通知\(米国のみ\)およびその他の規制情報](#)
- [Dellに問い合わせ](#)
- [モニター設定ガイド](#)

## 注意: 安全指示

安全に関する指示については、製品情報ガイドを参照してください。

## FCC通知(米国のみ)およびその他の規制情報

FCC通達 (米国国内のみ)

**FCC クラス B**

この装置は、ラジオ周波数エネルギーを発生、使用、および放射することがあります。メーカーの使用マニュアルにしたがって設置して使用しない場合は、ラジオおよびテレビ受信機との障害を起こすことがあります。この装置は、試験によって、**FCC** (連邦通信委員会) 規則第**15**部にしたがって、クラスBデジタル機器の制限に準拠することが確認されています。

この機器は、F C C規則第**15**部に準拠します。操作には、**2**つの条件がそろっていなければなりません。

- 1 この機器が、有害な障害の原因となることはない。
- 2 この機器は、不要な操作をしなければならなくなるような障害を含め、受信した障害を受け入れなければならない

 **通知:** FCC規定では、Dell社が未承認の変更または修正により、この装置を操作しても無効になることを規定しています。

これらの制限は、住宅での設置で発生する有害な障害から適切に保護されるよう設計されています。しかし、特定の設置によって障害が発生しないという保証はまったくありません。この装置に、装置の電源をオンまたはオフにして、ラジオまたはテレビ受信による有害な障害が発生した場合、次のうちいずれかの方法または複数の方法の組み合わせて、障害の修正を行ってみることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を調整する
- 受信機に関して、システムの場所を変える
- システムを受信機から離す
- システムと受信機が異なる分岐回路を使用するように、システムを入れる差込口を変える

必要な場合、Dell社の代理店か、または熟練ラジオ/テレビ技術者から、詳細にアドバイスを受けてください。

次の情報は、F C C規制に準拠して、この文書で明記された機器に記載されています。

- 製品名：1908WFP
- モデル番号：1908WFPf
- 企業名：Dell社

世界各国の規制コンプライアンスおよび環境関連

Dell Way 1つ

## Dellに問い合わせ

米国のお客様の場合、800-WWW-DELL (800-999-3355)にお電話ください。



**注:**インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、またはDell製品カタログで連絡先情報を調べることができます。?

Dellでは、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。Dellの販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには、

**1 support.dell.com** にアクセスします

**2** ページ下部の **Choose A Country/Region** [国/地域の選択] ドロップダウンメニューで、居住する国または地域を確認します。

**3** ページ左側の **Contact Us** [連絡先] をクリックします。

**4** 必要に応じて、適切なサービスまたはサポートリンクを選択します。

**5** ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

---

## モニター設定ガイド

PDFファイルを表示する（.pdf拡張付きファイル）には、ドキュメント・タイトルをクリックします。PDFファイル（.pdf拡張付きファイル）をハードドライブに保存するには、ドキュメント・タイトルを右クリックして、Microsoft Internet Explorer で名前を付けて保存をクリックするか、またはNetscape Navigatorで名前を付けてリンクを保存し、次にファイルを保存する先のハードドライブの場所を指定します。

[モニター設定ガイド \(.pdf\)](#) (2.27 MB)



注: PDFファイルには、Adobe Acrobat Readerが必要です。[www.adobe.com](http://www.adobe.com)のAdobeウェブサイトからダウンロードできます。

PDFファイルを表示するには、Acrobat Readerを起動します。次に、ファイル→開く をクリックして、PDFファイルを選択します。

[目次ページに戻る](#)